

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



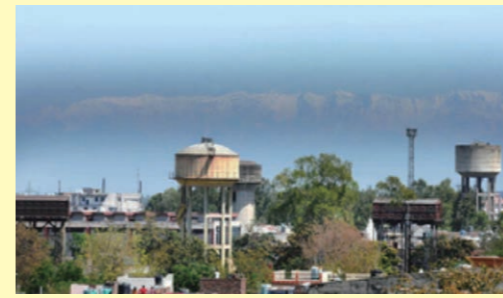
2020年夏号 Vol.52

人と木と炎の関係。

焚火には、心を癒す力があるといわれます。僅かな変化を繰り返しているものに人は安らぎを覚えるのだそうです。私たちが丸太でつくるかけがわトーチ。揺らめく炎と変化する木の姿は視覚、聴覚、嗅覚をくすぐりながら穏やかに、美しく燃え続けます。アウトドアライフやキャンプでの新しい焚火スタイルの提案です。

かけがわトーチ
一個1,500円(税込)
お買求めの際は事前にご連絡ください。
TEL.0537-25-2111

200Km離れたインド郊外から見えるようになったヒマラヤ山脈



榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 20

新型コロナウイルスの 終息後の世界について

緊急事態宣言が解除されましたが、テレビではまだコロナ、コロナの話題ばかり、もううんざり、という状態ではないでしょうか。政府は感染拡大を予防しようと「新しい生活様式」を国民に求めています。食事中のおしゃべりは控える、お酌は避ける、など、これからの世の中が人間味を抑えられた、味気ないものになってしまわないか心配です。

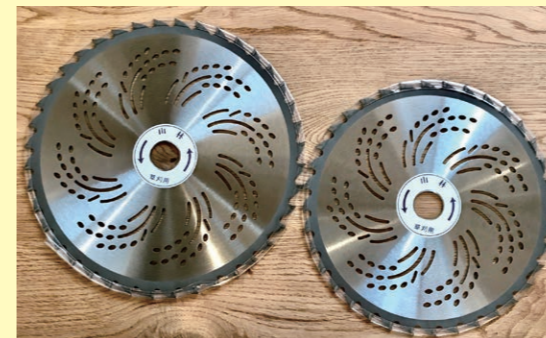


人の命を奪うコロナは人間社会では許容できるものではありませんが、どうやらコロナの影響が自然環境にはプラスに作用しているようです。インド郊外から200km離れたヒマラヤ山脈が見えるようになり、「水の都」世界遺産イタリヤ・ベネチアでは観光客が激減した結果、濁っていた運河が透き通り、水の底が見えるようになりました。また二酸化炭素の排出量が劇的に減り、オゾン層が急速に回復しているとも言われています。経済活動を否定するの!?と批判されそうですが、そうではありません。

掛川市は報徳精神を源流とし、日本で初めて生涯学習都市宣言をした「生涯学習発祥」のまちです。「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」という報徳思想の基本理念。私は、現代がちょっと経済を優先しすぎて、市場原理主義に偏り、自分さえよければ良いという風潮になってしまっているような気がしています。まさに、経済と道徳のバランスが大切ということではないでしょうか。

地球上のあらゆる生命体は、ウイルスとも人間とも共存しています。人間は少し「人間様」になりすぎているのかもしれません。林業の現場は3密(密集、密閉、密接)でない開放感全開の非3密空間です。そんな非3密空間で、コロナ禍の中でも幸せに心豊かに暮らし、社会をより良くしていきたい。ウイルスコロナ社会に適応しながら、私たちは自然に活かされていることに感謝し、謙虚に、愚直に、森林を守り、育て、活かして続けてまいります。

「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!!



チップソー ¥1,100 (税込価格)

組合でも使用しているチップソーは、切れ味抜群で購買商品の中でも一番人気です! 特殊な丸刃で日常の草刈りはもちろん、雑木や山林の下刈にもお使いいただけます。

サイズは230mm・255mmの2種類です。

チップソーは20枚のまとめ買いで1枚プレゼント!

まとめ買いがお得ですよ! ほかにも刈払機の販売や修理、部品の取寄せ、ナイロンコードも取扱っておりますので、お気軽にお問合せください。

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1
TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113
<http://kakemori.seesaa.net/>



コロナ禍における 木材流通と組合事業

施業整備課長

長嶋 勝樹



まず組合の日常業務ですが、現場作業では3密を避けられるため、業務をなんとか継続することができています。また事務所内ではできるだけ換気を良くし、体温計やマスク、消毒液の配備を行い、会議等では3密を避ける取り組みを推進しています。

一方で、木材流通については影響が出始めました。想定される住宅着工数が更に減少となり、それに伴い木材需要は減少傾向にあります。当組合からの出荷の半分近くを占める合板用材も全国的に減産傾向にあり、また、流通全体の落ち込みにより、船便等で使用する梱包材については、原木の受入れはほぼストップしました。

今後しばらく木を伐つても売りづらい状況が続くおそれがあります。そのため、組合事業としては木材生産を伴わない保育事業を増やす、造材や仕分けの工夫により新たな販路を見つける、生産コストを下げる、国有林事業等に取り組み、といった対応をとっていきます。ただ、生産量そのものを大きく減らすことは、今後の木材需要そのものを大きく損なうという悪循環を生む恐れがあるため、供給体制はある程度維持、継続する必要があります。この状況が早く収束し、終息へ向かうことを切に願います。



かけ森インタビュー② 昔から引き継がれてきたこの美しく長閑な里山を、いつまでも守りたい。

掛川市原泉地区で、数年前から米作りを中心とした農業を行うグループ作楽人（さくらびと）。メンバーはそれぞれ会社勤めを終えた後、ふるさとの農風景を守るために集まった、農産地のDNAをもつ地元のお父さんたちです。2019年より森林組合でスタートした薪販売の薪づくりに協力いただいているご縁で、メンバーの柴田敏彦さんと柴田貞雄さんに、お話を伺いました。

作楽人について教えてください。

敏彦…原泉出身の60代から80代6人で行う、農作物の生産販売グループです。勤め上げて原泉に帰ったとき、自然豊かで美しいふるさとの姿を、地域の高齢化や過疎化で荒れていくことから守りたい、とグループを立ち上げました。メンバーはそれぞれ勤めに出ていた人ばかりです。農産物については諸先輩方に習い、専門誌で学ぶところからスタート。今は4町弱の米作りを中心に、いろいろな野菜作りにも挑戦しています。

作楽人のお米は美味しいと評判です。

貞雄…お陰様で好評いただいています。個人で注文してくれるお客さんが良い評判を流してくれているおかげで、新しい注文もいただいています。敏彦…作っているものの味には自信があります。原泉の水はきれいで冷たい、日中と夜の水温の開きが大きいことが一番のポイントだと思っています。その点では、水を作る森を管理してくれる森林組合の仕事とは深い縁があるように思います。

薪販売を通して地域の人を雇用する仕組みを作りたいという想いを話してくれて。ちょうど作楽人ができた後でしたから、メンバーに相談して、やってみようとなりました。

敏彦…はじめ聞いた時は、まさか手で割るのか!?と驚きました。自分たちも風呂は薪で沸かして入っていましたから、薪の準備の大変さもわかっていました。でも、強力な薪割機があるとのこと、それならできるだろうと。農業は年間のスケジュールが大体決まっているので、その隙間に来れるメンバーで無理なくやれています。

森林組合とのつながりといえば、昨年からは始まった薪販売にも作楽人の力をお借りしています。

貞雄…きっかけは森林組合員の会合で、尾崎さんと雑談していた時です。



敏彦…地域は高齢化し



作楽人メンバー

しばた としひこ 柴田 敏彦さん(左)
しばた しげお 柴田 貞雄さん(右)

お米や野菜についてのお問合せ
(代表 柴田敏彦)
TEL. 090-8543-7507
Mail. kome_sakura_2016@softbank.ne.jp



お知らせ① 第59回通常総会開催について

総務・経理課

今般の新型コロナウイルス感染症防止の観点から8月29日(土)開催予定の第59回通常総会につきましては、組合員のみさまの健康面、安全面を考慮して、あらかじめ出欠の連絡をいただく方法をとらせていただく予定です。欠席の方は「議決権行使書」をご提出いただけます。

なお、「出欠連絡用紙」及び「議決権行使書」につきましては、8月中旬頃郵送する予定です。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ②

読んで答えて、プレゼントをもらおう！
広報紙をより良くするために、ご意見をお聞かせください！

応募方法

同封のはがきに、アンケートの答えご希望のプレゼント番号、ご住所、お名前、年齢、電話番号を記入し、ご郵送ください。(切手不要)

■締め切り 令和2年8月15日(必着)

■厳正な抽選を行い、当選者を決定します。

当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(取得した個人情報目的以外には使用しません。)

今回のプレゼント

- 1 UCC ドリップポット マシン(1名)
- 2 掛川産 檜のフォトフレーム (3名)
- 3 ならこの湯 ペア入湯券 (5組)
- 4 かけがわトーチ (大・ミニ)セット (2名)